

組合等SDGs推進事業(奈良県中央会補助事業)について

奈良県中央会では、組合および組合員企業を対象に「奈良県SDGs企業認証制度」の申請支援を行っています。
本事業では、SDGsの基本的な理解を深めながら、自社や業界に即したSDGs活動指針を策定し、将来のビジネスチャンス^①の発見や事業の活性化につなげます。認証取得に向けた個別支援や書類作成のサポートを通じて、地域に根ざした持続可能な経営への第一歩を後押しします。

事業イメージ・流れ

【事業普及(全体)】

①キックオフセミナー(参加無料)

- ・SDGsの取組意義
- ・奈良県内企業の取組事例
- ・奈良県SDGs企業認証制度について



事業申請(公募)

【採択後】

①ワークショップ(集合研修)

- ・SDGs推進に係る事例紹介
- ・奈良県SDGs企業認証制度申請支援①

②ワークショップ(集合研修)

- ・SDGs推進に係る経営アドバイス
- ・奈良県SDGs企業認証制度申請支援②

③ワークショップ(集合研修)

- ・認証制度に係る有効活用方法
- ・認証申請結果に基づくフォローアップ



【応募条件等】

奈良県中央会会員組合又はその組合員企業であること 等

【支援負担金】

最大30,000円 採択事業者数により負担額が按分されます

奈良県中小企業団体中央会 業務課
住 所:奈良市西大寺南町8番33号
奈良商工会議所会館内
電 話:0742-41-3200



奈良県中央会ホームページ

組合等SDGs推進事業および
活用方法・支援情報等については

奈良県中央会



奈良県SDGs企業認証制度(奈良県)について

奈良県では、県内中小企業のSDGsに関連する取組状況の「見える化」を図り、取引や雇用面での企業価値の向上を後押しすることを目的として、令和7年度より「奈良県SDGs企業認証制度」が創設されました。

(1) SDGs17ゴールに繋がる取組項目の設定

事業活動において、SDGs17ゴールに繋がる取組を「社会」「経済」「環境」の3分野から、30項目設定。

(2) 申請から認証までの流れ

申請書とチェックリストの取組内容に応じた根拠資料を提出。県で内容を精査し、「社会」「経済」「環境」の各分野等の専門家により、企業の取組項目の実施状況を審査し、認証企業を決定。

(3) 企業の取組項目数に応じて、2段階「アドバンス」

「スタンダード」で認証。認証企業に対し、県から「PR」や「資金」等を支援。(金融機関や大学、経済団体、市町村など県内関係期間からのサポートも実施)

(4) 認証対象者・認証期間

認証対象は奈良県内に本社、本店、支店等の事業所がある中小企業となります。
認証期間は3年間となります。(認証を受けた日から起算して3年を経過した日以後の最初の3月31日まで。更新可。)

分野	社会(11項目)	経済(11項目)	環境(8項目)
項目	①多様な人材の活躍 ②女性の活躍 ③従業員・取引先への人権配慮 ④労働安全衛生 ⑤健康経営 ⑥ハラスメントの禁止 ⑦地域社会への責任 ⑧社会配慮型商品・サービスの提供 ⑨多様な働き方の促進 ⑩顧客への責任 ⑪地産地消	①人材育成・能力開発 ②雇用の維持・拡大 ③デジタル化による生産性の向上 ④事業承継 ⑤事業継続計画(BCP)の策定 ⑥情報セキュリティ対策 ⑦企業統治体制の構築 ⑧公正な経済取引 ⑨企業情報の公開 ⑩市場変化を見据えた対応 ⑪多様な主体との連携	①脱炭素(燃料消費量の可視化・削減) ②脱炭素(電力消費量の可視化・削減) ③脱炭素(再生可能エネルギーの導入) ④水資源の適正な利用・管理 ⑤廃棄物の削減 ⑥有害化学物質の削減 ⑦生物多様性及び天然資源への配慮 ⑧商品・サービスを通じた環境問題への取組

奈良県 産業部 産業創造課

住 所:奈良市登大路町30

電 話:0742-27-7005



奈良県ホームページ

SDGs企業認証制度および
申請方法・取組状況等については

奈良県 SDGs



※内容は「令和7年度」の内容となり、令和8年度の申請内容等については詳細が分かり次第、県HPにて公開します。

奈良から未来へ
- SDGsでひろがる新しい経営のかたち -



あなたの組合・企業も、「SDGs経営」で次のステージへ！

奈良県中小企業団体中央会では、県内の中小企業・組合の「SDGs経営」を応援しています。小さな取組が、地域と未来を変える大きな力になります。

SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) とは

2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。



組合や中小企業の経営についてバックアップします。

奈良県中小企業団体中央会

SDGs経営で広がるメリット

💡 SDGs=社会貢献+経営改善のツール!

①取引先・行政・金融機関からの信頼向上

SDGsへの取組により持続可能な成長への貢献を示すことが、**企業の責任感と透明性**を高めます。

顧客や取引先、投資家などのステークホルダーに信頼される企業イメージを確立し、関係性を強化、**長期的な視点での企業価値向上を期待させる**ことが信頼獲得につながります。



③コスト削減・経営効率化

省エネ・省資源の取組や業務改善を進めることで、**無駄なコストの削減と経営の効率化が実現**します。たとえば電力や水道の使用量削減、在庫や廃棄ロスの見直し、ペーパーレス化など**日々の小さな取組が利益改善に直結**します。



②若手人材の採用・定着促進

SDGsへの取組を推進することが、**従業員に仕事の意義や社会貢献の実感**を与え、**誇りを高める**ことにつながります。また、成長機会や新たな挑戦を提供し、目に見える**成果や成功体験を共有**することで、**達成感を得られる**とともに、モチベーションの向上にもつながります。



④地域から“応援される企業”に

地域社会や住民と共に課題解決に取り組むことで、「地域に必要とされる企業」としての信頼と評価が高まります。地元イベントや学校との連携、環境美化活動など、**地域との関わりがブランド価値を高め**、長期的な企業基盤の強化につながります。



SDGsにどう取り組むか【はじめてでもできる!SDGsの取組ステップ】

STEP ① 自社の強みと課題を見直す

まずは、自社の**事業内容**や**日常業務**を振り返ってみましょう。

例:リサイクル商品の利用・開発
社内蛍光灯をLEDに切替

⇒省エネや廃棄物削減

例:デジタル化・就業規則見直し
⇒働きやすい職場

これらを見直すことで、**すでに?**
SDGsにつながる行動となっていないでしょうか。



STEP ② SDGsの17ゴールと結びつける

見つけた取組を、SDGsの17の目標の中から自社に**関係するものと照らし合わせ**ましょう。



例:節電等の省エネ活動 →

【目標12】つくる責任 つかう責任

例:働きやすい職場づくり → 【目標8】働きがいも経済成長も

例:地域貢献活動 → 【目標11】住み続けられるまちづくり
(参考:SDGs取組例一覧表)

STEP ③ “できること”を決めて行動する

すでに取り組んでいる活動について**小さなことから“意識して”実践**してみましょう。

例:節電・節水のルール化

⇒エアコン温度設定・電気使用料の定期確認およびルールの社内掲示 等

例:社員研修や健康づくりの充実
⇒「職場まるごと健康宣言」

への取り組み・社外研修費用補填 等

続けることで、自然とSDGs経営につながります。



STEP ④ 取組を「見える化」する

社内報・ホームページ・SNSなどで**取組を発信**しましょう。

見える化することで、**社員の意識向上**や**取引先・地域からの信頼アップ**につながります。

【PR方法(参考)】※詳細は裏面

・組合等SDGs推進事業

(奈良県中央会事業)

・奈良県SDGs企業認証制度

(奈良県)



💡 SDGsは特別な活動ではなく、“自社らしさを活かした経営の工夫”です。
今日から始める小さな一歩が、未来を変える大きな力になります。

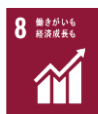
奈良県で広がるSDGs実践事例【組合等SDGs推進事業活用事業者】

株式会社明新社(奈良市) 奈良県SDGs認証(スタンダード)企業

テーマ

創業150余年の信頼と伝統を礎に、
地域活性化と働き方改革を推進し
持続可能な未来を次世代へ繋ぐ

ゴール



取組内容

当社は、環境への配慮と地域社会との共生、働きやすい職場環境の構築に全社で取り組んでいます。環境面では、ベジタブルインキや紙ファイルの活用に加え、自社プロデュースの環境エコファイター「YAMATO超人ナライガー」が地域の環境イベントに参加し、活性化に貢献しています。また、高齢者・障がい者・色覚障がい者などにも見やすく、伝わりやすくするためのMUD(メディア・ユニバーサル・デザイン)という配慮手法を用いています。加えて、社員全員が「SDGs取組カード」を携帯し、各自の目標達成に向けて意識を高めています。職場環境・人材育成においては、「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」として、女性活躍や仕事と家庭の両立を支援のみならず、近隣の高校・大学生のインターンシップを例年複数名受け入れ、次世代の育成にも尽力しています。

成果

認証取得により社員が継続的な取組の重要性を再認識しました。
また、環境配慮や地域貢献の対外的なPRを通じて、企業イメージ向上や採用活動への好影響が期待できます。



ヤマヤ株式会社(北葛城郡広陵町) 奈良県SDGs認証(スタンダード)企業

テーマ

地域資源と多様な人材を活かした、
環境にやさしいものづくりの推進

ゴール



取組内容

当社は、地域資源と多様な人材を活かした、環境にやさしい靴下づくりを推進しています。オーガニックコットンや天然繊維を用いた高品質な製品を自社工場生産し、長く使える設計で「つくる責任・つかう責任」を実現。子育て世代や高齢者も働きやすい柔軟な勤務体制を整え、地域雇用の安定にも貢献しています。今後は太陽光発電の導入や脱炭素、BCP策定の取り組みも予定し、持続可能な社会の実現を目指します。

成果

自社製品のコットンはオーガニックコットン100%を実現、子育て世代・高齢者の雇用比率は全体の25%を達成。

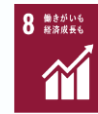


奈良県繊維工業協同組合連合会(大和高田市) 奈良県SDGs認証(スタンダード)企業

テーマ

葛製造工程で発生する廃材を活用した
葛和紙繊維「咲良史歌鹿®」の商品化

ゴール



取組内容

当連合会は、奈良県の繊維産業を活性化させ、地域特性を生かした製品開発を進める、靴下・ニット・織物・布帛製品・染色の5つの組合で構成する組織です。2005年以降、これまで葛製造工程で葛粉を精製した後に廃棄されてきた葛根の繊維化の開発を続け、2016年に葛和紙繊維「咲良史歌鹿®」を商品化しました。「咲良史歌鹿®」は、マイクロサイズにパウダー化した葛根を紙に漉き、2~3ミリにスリットした紙をオーガニックコットンなどと撚り合わせた糸を原料に、ニットや織物、靴下などのエコな商品にしました。

成果

「咲良史歌鹿」は地域資源を活用した循環型ものづくりにより、地場産業の継承と環境負荷低減、地域経済の活性化に寄与している。

